

池上秀畝 略歴

西暦（年号）	年齢	略歴
1874（明治 7）年		筑摩県西高遠町横町（現 長野県伊那市高遠町）の紙商兼小間物問屋に生まれる。本名国三郎。 ※当時は大区小区制で南第16大区6小区に編制されていた
1881（明治14）年	7	西高遠学校に入学。絵が得意であった。
1883（明治16）年	9	この頃より、雅号として「国山」を使い始める。※1892（明治25）年頃まで
1889（明治22）年	15	高遠学校を卒業。父とともに上京。日本美術協会の幹部、荒木寛畝に入門。 ※西高遠学校は1886（明治19）年に合併で高遠学校に名称変更
1894（明治27）年	20	9月、第6回日本美術協会展に《一品当朝》初出品、2等賞受賞。古美術を研究。
1905（明治38）年	31	同門の大岡豊子（号は緑畝）と結婚。東京府下谷区谷中清水町（現 東京都台東区）に居住。 寛畝がおこした「読画会画塾」で会務に当たり、第1回読画会展開催。
1906（明治39）年	32	第40回日本美術協会展に《月下猛虎》出品、3等賞銅牌受賞、宮内省御用品。
1907（明治40）年	33	東京府勸業博覧会に《時雨》出品、2等賞受賞。正派同志会結成、評議員となる。
1909（明治42）年	35	第3回文展に《潮の烟》出品。中村不折より「伝神洞」の扁額を受ける。
1910（明治43）年	36	文展に《初冬》出品、3等賞、政府買上。師・寛畝と共に、前田侯爵邸で御前揮毫。
1912（大正元）年	38	第6回文展第1科に《朔北》、《梢の秋》を出品、《梢の秋》が3等賞第1席受賞。
1915（大正 4）年	41	師荒木寛畝没。この頃、第1回伝神洞画塾展。第9回文展に《秋晴》出品。
1916（大正 5）年	42	10月、第10回文展に《夕月》、《文姫辞胡》を出品。《夕月》が特選第2席受賞。
1917（大正 6）年	43	10月、第11回文展に《峻嶺雨後》を出品、特選第7席受賞。
1918（大正 7）年	44	10月、第12回文展に《四季花鳥》を出品、特選第5席。連続3回の特選受賞。
1924（大正13）年	50	摂政宮（後の昭和天皇）の御成婚祝賀の献上画、《国之華》を描き納める。
1930（昭和 5）年	56	4月、秀畝一門12名による伝神洞画塾の移動美術展を伊那にて開催する。第11回帝展に 《佐久間象山先生》を出品、後に象山神社奉納。12月、首相官邸に《巖頭鷲》収める。
1933（昭和 8）年	59	4月、日本画会に《盛夏》出品。翌月天竜峡に遊ぶ。伊那の常円寺にて《龍虎図》描く。
1937（昭和12）年	63	第1回新文展に《颯爽（軍鶏）》を無鑑査出品。目黒雅叙園の10畳間壁画8面を描く。
1939（昭和14）年	65	9月、ニューヨーク国際商工会議所ワットソンの依頼で、ニューヨーク万国博覧会に 《黎明》出品、29か国70余点のうち4等賞。第3回新文展に《皇化治》を無鑑査出品。
1944（昭和19）年	70	2月、池上秀畝献納画展を日本橋三越で開く。5月26日、狭心症のため、自宅にて逝去。



△10-20代の秀畝



△秀畝と伝神洞塾生たち



△妻・緑畝、長男・秀一と



△洋装の秀畝

生誕150年

池上秀畝

池上秀畝生誕 150 年展 開催情報

※展示期間、展示作品は変更の可能性があります。
詳細は各館 HP 等でご確認ください。

「～池上秀畝生誕 150 年記念展～秀畝の画業」

会期：2024年2月23日（金・祝）～6月16日（日）
休館日：毎週月曜、祝日の翌日 ※観桜期間中は無休



伊那市立高遠町歴史博物館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠 457
TEL: 0265-94-4444 FAX: 0265-94-4460

『『気韻生動』の画人 池上秀畝生誕 150 年展』

会期：2024年3月2日（土）～5月19日（日）
休館日：毎週火曜、3/21（木）※4月中無休



信州高遠美術館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠 400
TEL: 0265-94-3666 FAX: 0265-94-3936

「生誕 150 年 池上秀畝—高精細画人—」

会期：2024年3月16日（土）～4月21日（日）
休館日：毎週月曜 ※会期中展示替えがあります



練馬区立美術館 巡回展

〒176-0021 東京都練馬区貫井 1-36-16
TEL: 03-3577-1821 FAX: 03-3577-1824

「池上秀畝生誕 150 年記念展」

会期：2024年3月16日（土）～5月27日（月）
休館日：毎週火曜



伊那市創造館

〒396-0025 長野県伊那市荒井 3520
TEL: 0265-72-6220 FAX: 0265-74-6829

「生誕 150 年 池上秀畝—ただ絵が好きで好きで—」

会期：2024年3月30日（土）～5月12日（日）
休館日：4/1（月）、8（月）、15（月）、22（月）、30（火）、5/7（火）
※会期中展示替えがあります



長野県伊那文化会館

〒396-0026 長野県伊那市西町 5776
TEL: 0265-73-8822 FAX: 0265-73-8599

「生誕 150 年 池上秀畝—高精細画人—」

会期：2024年5月25日（土）～6月30日（日）
休館日：毎週水曜 ※会期中展示替えがあります



長野県立美術館 巡回展

〒380-0801 長野県長野市箱清水 1-4-4
TEL: 026-232-0052 FAX: 026-232-0050

長野県伊那文化会館、高遠町歴史博物館、伊那市創造館、信州高遠美術館では、池上秀畝と作品を紹介するカードを配布します。4枚コンプリートした方には景品を贈呈します！※配布期間は各館の池上秀畝展の開催期間に準じます



池上秀畝《四季花鳥》（部分）1918（大正 7）年 紙本着色 第 12 回文展 特選 長野県立美術館
練馬区立美術館では 2024 年 3/16～4/21、長野県立美術館では 6/13～30 に展示予定

池上秀畝 1874（明治 7）年—1944（昭和 19）年



池上秀畝は、筑摩県西高遠町横町（現 長野県伊那市）に紙商兼小間物屋の次男として生まれました。15 歳で上京し、花鳥画家・荒木寛畝の門人、内弟子となります。1894（明治 27）年には日本美術協会第 6 回展で 2 等賞を受賞し、中央画壇でのデビューを果たします。また、1916（大正 5）年から 3 年連続で文展で特選を受賞、以降、帝展で無鑑査、審査員を務めるなど、同じ年に生まれた飯田市出身の菱田春草とともに日本画壇の新たな時代を築いていきました。

2024（令和 6）年は池上秀畝の生誕 150 年にあたり、長野県立美術館と練馬区立美術館では代表作品を展示する巡回展を開催します。また、長野県伊那文化会館、信州高遠美術館、高遠町歴史博物館、伊那市創造館でもそれぞれの館で企画した展覧会を開催します。今回、各文化施設が連携して、郷土の代表作家である池上秀畝の作品と事績を紹介し、秀畝の顕彰を行います。